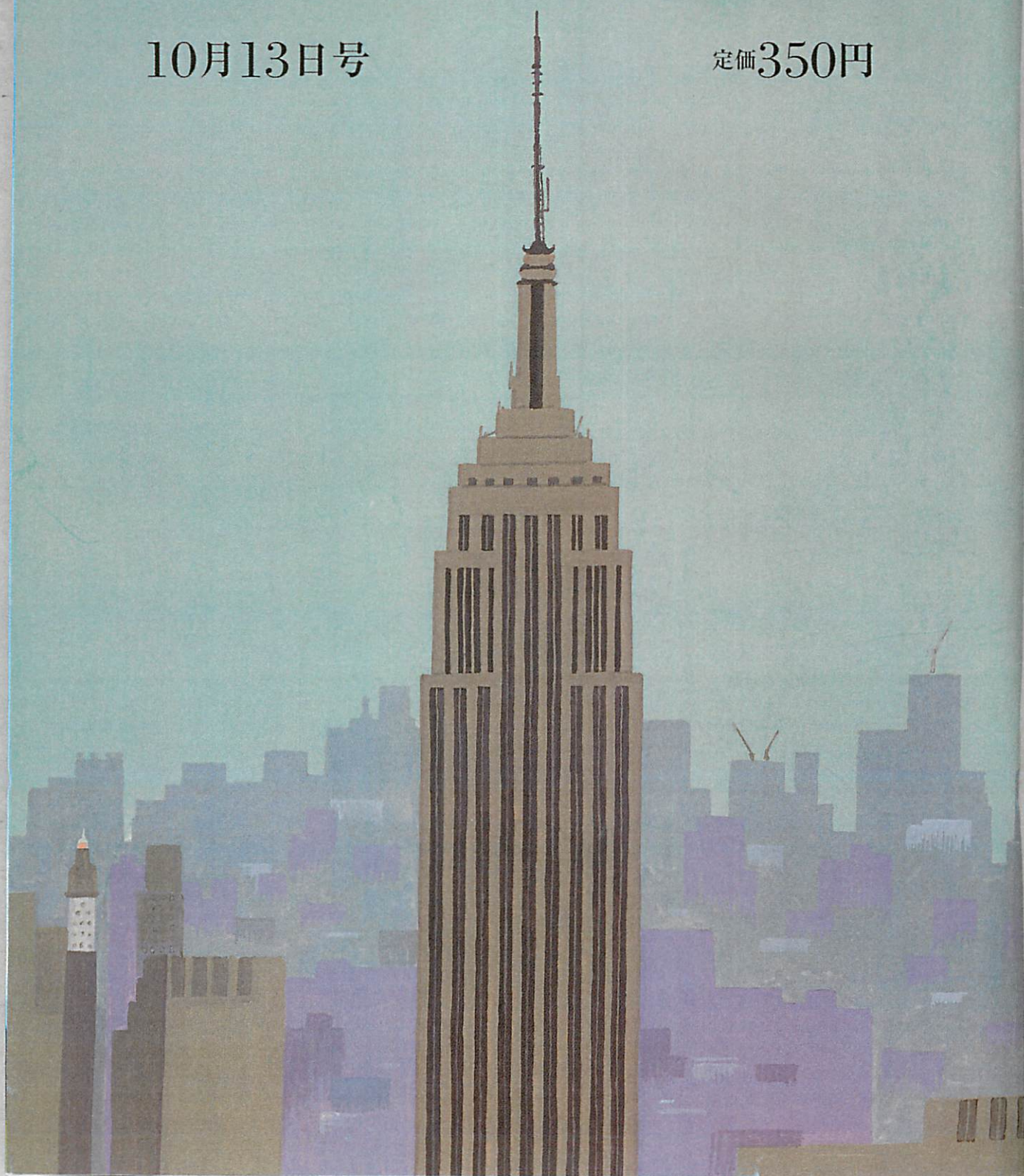


昭和34年4月21日第三種郵便物認可 平成23年10月13日発行(木曜日発行)(10月5日発売)第53巻第40号

週刊文春

10月13日号

定価350円





タワーマンションは大丈夫？

暮らし

震災後、不動産の価値観も変化 安全安心な「住宅選び」新基準

震災後、様々な物の価値観が変わったが、不動産も同様。「震災前は湾岸エリアのタワーマンションが飛ぶように売れていましたが、液状化の影響もあり、キャンセルが増えました。下水道の接続部分や建物内部の配管が損傷し、トイレや水道が使えなくなる世帯が多数あったことも一因です」(住宅情報誌記者)

震災を経験したからこそ、住宅選びの新基準はあるのだろうか？ まずは賃貸マンションから。「ファンド会社所有やリート(不動産投資信託)の対象になっている物件を選ぶと安心です。これらの物件は構造計算とはまた別な計算を行ない、安全性がとくに高いことが証明されています」(㈱アーブル

・パートナーズ代表取締役・風戸裕樹さん

どうすればファンド会社等の所有とわかるのか？
「残念ながら地元密着型の不動産屋さんでは難しい。大手不動産会社に問い合わせるといいでしょう」(同前)

購入する場合は？
「まず地形と地盤を確認すること。首都圏の地形を知りたいなら『東京地形地図』(http://www.gridsapes.net/)の利用を。地方の方は図書館や役場などで資料が閲覧可能です。低地は液状化の心配がありますし、台地ではかつて川が流れていた部分は地盤がもろく、関東大震災でも被害が大きくなった。丘陵は基本的に安心ですが、盛土をして造成した住宅地は要注意」(㈱東京情報堂代表取締役・中川寛子さん)

地形は時代とともに変わっているはずだが……

『今昔マップ2』(http://krgs.net/kinap/index.php)と、ソフトで古地図を閲覧できま

大きく扱っている。同日付の朝日社説「過去の問題ではな

している。新

具材的な情報公開法の改良を模索するほかないだろう。(免)

す」(同前)

広告を見てわかることも。「『当マンションは二十メートル以上の杭を大量に打っています』というような安全性を強調する広告があります。が、それほど杭を打たなければならぬのは地盤が弱い証拠」(同前)

最後に中古物件の選び方。「マンションの場合は、新耐震基準が施行された八一年以降の物件を選ぶこと。一戸建ては一軒一軒質がまったく違うため、素人が選ぶのは難しい」(住生活ジャーナリスト・田中直輝さん)

家は「安住の地」であってほしいものだ。(岡崎博之)

行 居酒屋が「首相とは関係ない」といった

どじょうメニュー

どじょう宰相、野田総理誕生で、特需が生まれているというのだが……

どじょうすくい踊り発祥の地・島根県安来市には問い合わせが殺到。

「以前は一日一件程度でしたが、野田総理就任後は一週間で百件以上。どじょう料理店

も活況です」(同市商工観光課

・野々村貴史さん)

関連商品の販売も好調だ。「黒ゴマをどじょうの鼻くそに見立てたせんべい」「どじょうの鼻くそ」は二割増しの売れ行き。どじょう演説を見てすぐに追加発注したら大当たりしました」(同市内の土産物店「安来節屋」松崎勉さん)

同店主催のどじょうすくい踊り体験教室も人気で、「以前はほとんどが年配者だったが、今は若い人からの申し込みが増えた」(同前)という。

○四年に発売されたどじょうすくい踊りの練習ビデオセットの売り上げも伸びた。

「毎月十〜二十セット程度でしたが、九月以降は百セット近く出ています」(販売元のキングレコード担当者)

練習ビデオに加えて竹ザルや竹ビクなどがセットになって、税込一万二百九十円。

「興味本位で買うにはやや高めですから驚き。こうした商品にしては珍しく、DVD化の要望も多いですよ」(同前)

ブームを受け、安来市では町おこしに「どじょうと躍起」。

市内にあるどじょう料理店のマップを作成し、安来駅に隣接する観光交流プラザには



どじょう宰相

関連グッズ特設売り場を設けました」(前出・野々村さん)

そんな中、大手居酒屋チェーン「養老乃瀧」は九月から同グループの「海鮮番屋『魚彦』上池袋南口店限定で、「どじょう唐揚げ」「どじょう柳川鍋」「どじょう丸鍋」を導入。ブームの一環かと思いきや、「前から予定していた」(同社広報)とつれない返事。

「栄養価の高いどじょうには以前より注目しており、野田首相とは全く関係ありません。関連付けて取り上げられるのは困るのですが……」(同前) 国会内の反響もいまひとつ。

「野田首相関連商品の『どじょうかりんとう』の売れ行きは、歴代首相の関連商品と比べても同程度。特別に売れているわけではありません」(国会内の土産物店・新美堂)

中途半端などじょうブームを作った野田首相に、果たして日本を救えるのか？

(鼠入昌史/Office Ti)

とができました——映画で大物政治家を演じる杉村太蔵(32)。フイクションで本当に良かった。